国営明石海峡公園 神戸地区
あいな里山公園

みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2024

7月中旬～8月中旬

季節のおすすめ散策コース♪（ゆっくり歩いて1時間）
おてがるコース♪（ゆっくり歩いて30分）

ノカンゾウ(ススキノキ科)
ヤブカンゾウと同じく、若葉やつぼみは食用になります。

トノサマガエル(アカガエル科)
緑に黒い斑点模様が特徴的なカエル。田んぼに水が張られる頃、繁殖期を迎えます。

ネキトンボ(トンボ科)
平地の池や水田などで暮らす、全身真っ赤なトンボ。

ミヤマカラスアゲハ(アゲハチョウ科)
光を反射して青く光ってみえる、里山を代表する美しいアゲハチョウです。

ショウリョウバッタ(バッタ科)
明るい草地で暮らしている細長い葉っぱのような姿をしたバッタ。
メスはオスの2倍ほど大きくなります。

キキョウ(キキョウ科)
秋の七草の「あさがお」はキキョウのこと。夏から咲きはじめます。

ウツボグサ(シソ科)
ウツボとは、弓矢を入れておく道具のこと。真夏に花穂が枯れることから、夏枯草とも。西洋でもセルフヒールというハーブとして活用されています。

ミソハギ(ミソハギ科)
"みそぎ"の儀式に使うことが名前の由来だそう。ちょうどお盆のころに咲くので、お供えの花としてもよく使います。

イネ(イネ科)
穂の外にとび出して白く見えるのは"おしべ"の部分。田んぼで一斉に咲いて、秋の実りの準備をします。

ヤブカンゾウ(ススキノキ科)
花を観賞するだけでなく、若葉やつぼみは食用になります。

カワラナデシコ(ナデシコ科)
別名ヤマトナデシコ。日本女性の美しさを、昔はこの花に例えて表現していました。秋の七草の一つ。

ユウスゲ(ススキノキ科)
キスゲとも。花は夕方にひっそりと咲き、翌朝には閉じてしまいます。

里山美林散策路 ～緑陰の散策～
早苗の棚田景観を、木陰より見下ろしながら散策ができます。

リョウブ(リョウブ科)
昔、食料の少ない時に、若葉を摘んでリョウブ飯にしたとか。

オニユリ(ユリ科)
鮮やかなオレンジ色に濃紫色の斑点模様のある、とても派手なユリ。コオニユリと違って、ムカゴができます。

ウバユリ(ユリ科)
花が咲くころに葉が枯れはじめる様子を姥（うば）に見立てた名前だそうですが、葉が残ることもよくあります。

木見川散策路 ～緑陰の散策～
樹木の葉が夏の日差しをかわし、心地の良い涼しげな散策ができます。